

【科目情報】

授業コード	1FCB613010	科目ナンバリング	FCALAW84013-J1
授業科目名	社会保障法		
担当教員氏名	川村 行論		
開講年度・学期	2022年度前期	曜日・時限	月曜3限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	この授業では、年金保険、医療保険、労災保険、生活保護を中心に、社会保障法全般を対象として講義を行う。具体的には、各回において、社会保障の各分野における最高裁判例を素材として、各種の制度の内容について理解しつつ、その法的な意義・問題点について検討する。
到達目標	受講者が、授業で扱った社会保障法制度や代表的な裁判例の判断枠組みを他者に説明できるようになること、および一方の立場だけでなく、反対の立場からも、制度のあり方や判例の判断枠組みなどを説明・論証ができるようになることが、この授業の目標である。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	社会保障法の全体像	なし。
第2回	公的年金① 公的年金の当事者	事前の学習として、取り上げる裁判例を読み込み、問題点を把握しておく。 事後の学習として、裁判例における論点を整理し、判断枠組みを理解する。
第3回	公的年金② 年金給付	同上
第4回	公的年金③ 公的年金と企業年金	同上
第5回	公的医療保険① 医療保険の当事者	同上
第6回	公的医療保険② 保険給付	同上
第7回	公的医療保険③ 審査・支払	同上
第8回	労働保険① 労働保険の当事者	同上
第9回	労働保険② 労災(業務災害・通勤災害)	同上
第10回	労働保険③ 労災民訴	同上
第11回	介護保険① 介護保険の当事者	同上
第12回	介護保険② 介護保険に係る規制	同上
第13回	生活保護① 生活保護の原理	同上

第14回	生活保護② 給付に係る規制	同上
第15回	社会保障制度と憲法	同上
第16回	期末試験	なし。

成績評価方法	上記到達目標を踏まえ、相対評価による成績評価を行う。評価の割合は、期末試験の成績を70%、平常点（講義における質疑応答や議論への参加状況）を30%とする。なお、履修登録者数によっては期末試験に代えてレポートを課す可能性がある。その場合には、具体的な考慮要素等について初回の授業で説明する。
履修上の注意	講義では裁判例を取り上げて検討するが、関連する社会保障制度の概要について把握する必要がある。
教科書	加藤智章＝菊池馨実ほか『社会保障法[第7版]』（有斐閣・2019年） 岩村正彦[編]『社会保障判例百選[第5版]』（有斐閣・2016年）
参考文献	講義中に適宜紹介する。
その他	